

H22年第4回定例会 12月9日から21日まで開催

今定例会に「世羅町生活環境保全等に関する条例の一部を改正する条例」(以下「生活環境保全条例」という。)を、議員提案(以下「発議」という。)した。発議は議員に与えられた権限だが、今回の生活環境保全条例のような本格的な条例改正案は合併後初めてとなる。

また、一般会計を含む全ての会計で、給与などの減額を中心とした補正予算案が提出されたが「不適切な記載がある」と議会からの指摘。議案書の一部訂正と修正を迫った。

製造・販売業者 堆肥とその原料の野積み禁止

野積み堆肥による臭気や周辺の水質汚染を心配する小世良地区の陳情を契機に、産業建設常任委員会を中心に調査してきた。その成果として、生活環境保全条例の改正を議員発議し、全会一致で可決した。周知期間を経て、H23年4月1日から施行する。



池田工場現地調査

条例は肥料取締法で定める肥料と特殊肥料、その原料(以下「堆肥等」という。)を、製造または、販売する事業者に適用品

する。肥料等を屋外で保管(以下「野積み」という。)することは原則禁止。やむを得ず野積みする場合は、一定範囲の同意を必要とする。

補正予算書を一部修正

11月29日の第5回臨時会で、給与に関する条例を改正した。これに基づいて人件費を減額する補正予算(一般会計ほか、7会計)が提出された。町長は減額の根拠を人事院勧告とした。一方、議会

は、「世羅町の人件費削減の根拠は給与条例」と主張。休憩をはさんで調整した結果、すでに、提案されている議案については一部修正することとした。人件費のほかでは町道用地取得費、統合小学校仮設校舎などを減額。世羅中央病院増築負担金、傷みの激しい町道舗装改修費の増額を可決し

するなど、厳しい条件を付した。違反者には、罰金を科するほか、町長は改善勧告ができる。

た。また、12・13才頃に接種すると効果の高い子宮頸がんワクチンの接種促進費を可決した。

工事契約・条例制度

5千万円を超える契約は議会の議決が必要とされている。

世羅小学校の増築工事は12月15日に入札。1億8千8百万円で(株)セラケンが落札した。工期はH23年9月21日となっている。2学期から使用できること、児童の安全を最優先することなどを確認し議決した。

すでに、契約されている町道安田徳市線道



せらひがし小学校視察

路改良工事は土質の状況と残土処分との関係で1千万円増額する。町内全域に網羅されたケーブルテレビに加え、接続すれば、テレビの受信だけでなく、インターネットの高速通信も地域格差なく利用できる。反面で、維持・保守に相当な経費が必要。これに対応するため基金を設置する。

生活環境保全条例改

第4回臨時会

11月5日

産業建設常任委員会

11月10日で常任委員会と議会運営委員会の委員任期が満了する。このため臨時会を開会、委員を選任した。

また、議会が町民の負託に応え、責任をどう果たすか、時代に即した議会の使命などを調査研究するため、議会改革調査特別委員会の設置を決めた。

さらに、7月豪雨災害の大規模復旧工事2件、年度内に工事が完了できないものを次年度に繰り越すことなど決定した。

改選した新委員は次のとおり。

○は委員長○は副委員長)

議会運営委員会

- 徳光 義昭
- 仲行 洋
- 矢山 武

総務文教常任委員会

- 福田 義人
- 永田 英則
- 中村 幸雄

- 中村 幸雄
- 岡田 武士
- 西田美喜男
- 豊田 勲
- 福田 義人
- 仲行 洋
- 松本 秀治
- 奥田 正和

第5回臨時会

11月29日

議会改革調査特別委員会

- 永田 英則
- 矢山 武
- 安佐 長秀
- 徳光 義昭
- 能登 哲夫
- 仙光 保喜
- 小川 信晃
- 福田 豪

- 松本 秀治
 - 豊田 勲
- (委員は議長を除く全員)

世羅町職員の給与は国家公務員に準じている。その国家公務員が給与減額するため、世羅町も減額する。

しかし、「なぜ、国に準ずるのか」などの、疑問は残ったままとなった。

一方で、町長・副町

長、議員の給与・報酬は、報酬審議会に諮った後に提案するという条例の定めがある。この、解釈は分かれたまま可決した。



年頭のごあいさつ

議長 奥田 正和

新年あけましておめでとうございます。日本中が、混沌のまま迎えた平成23年は、政治と経済を早く立て直してと願うが、我が町はそのような悠長ではならない。

我々議会人は、前向きに進み自己研鑽し、町政をリードする役割を与えられている。昨年末に発足した、議会改革調査特別委員会は、これまで以上に、皆さんの声を聞き、町の発展に資する政策提言など議会活動が活発になることを目指している。

今年、大きく転機を迎える小学校再編統合は、新たな環境の中で、児童がたくましく元気よく育ってほしいと願う。愛着のある校舎を閉じる寂しさもあるが、新たな活用により地域が賑わってほしい。

尾道自動車道、世羅ICを活かした取り組みは、待ったなし。観光関係者と連携した新たな町づくり、地場産業の活性化策は多様にある。今、知恵と汗をしっかりと出したい。

地域は、自治センターごとにビジョンの取り組みが進んでいる。地域の特性を活かした様々な動きが始まっていく。人が輝く町ならではの動き。

うさぎ年の一年。途中で昼寝せず、前へ跳ね、耳を立て声を聞き頑張ってください。

ご指導、ご協力よろしくお願いたします。